

民間検定試験の質的向上に向けて

第1回 効果的なテストの作成方法

平成27年12月9日(水)14:00~16:00(開場13:30) **無料**

国際オリンピック記念青少年総合センター センター棟 311室 定員100名

効果的なテストの作成方法とは/問題内容の信頼性と内容の検証/合否判定基準について

昨今、個人の価値観やライフスタイルが多様化する中で、多種多様な学習の機会が提供されている。各個人の学習成果が社会全体で幅広く通用し、評価され、活用できる民間検定試験に求められるテストとはどのような条件を備えたテストを指すのか。テストの作成・実施における一連の作業手順について、全体目標と計画作りから始まり、テスト内容の決定、問題作成、結果の集計、分析、判定など段階ごとに解説する。社会から信頼され、安心して受検できる検定試験の在り方について検討する。

講師

東北大学大学院教育学研究科 教授 柴山直氏



Profile

専門分野は人間の適性・性格・知的能力などを心理学的モデルを通して合理的に数値化することを目的とする教育測定学。「理念・信念・思い込み」で判断されがちな従来の教育ではなく、客観的なエビデンスに基づく教育におけるEvidence Based Accountabilityの実現に研究の重点を置く。1993年に日本教育心理学会城戸奨励賞、2010年に日本テスト学会大会発表賞、2013年に日本テスト学会論文賞を受賞。2015年中央教育審議会では、生涯学習分科会学習成果活用部会にて専門委員を務める。

第2回 ICTを活用したテスト導入

平成28年1月22日(金)14:00~16:00(開場13:30) **無料**

国際オリンピック記念青少年総合センター センター棟 402室(予定) 定員100名

ICTを活用したテスト導入に向けて/ICTを活用したテストの現状/導入のメリット

情報通信技術の進展により学習スタイルが劇的に変化する中、ICT活用教育の進展と相まって、民間検定試験にもICTを活用した試験実施を行うことにより受検者の利便性を高めることが考えられる。この現状を踏まえ、民間検定試験実施団体はその導入に向けてどのように対応していく必要があるか、ICTを活用したテスト実施に向けて、について考察する。また、テスト実施業務の平準化、テスト結果の分析や評価の簡素化、多様な実施形態のテストの実施が可能になるなどICTの活用による試験実施団体側のメリットについても解説する。

講師

電気通信大学 教授 植野真臣氏



Profile

教育工学をベースにeラーニング、eポートフォリオのシステム開発、実践を通しマネジメント方法の研究に従事。また、テスト理論の研究者でもあり、eテストングをIEEEで提唱し、我が国での普及にも貢献。世界最大のeラーニングの国際学会、e-Learn2004、e-Learn2005 e-Learn2007 でベストペーパー賞、ED-Media2008でOutstanding paper award、IEEE ICALT2005、日本行動計量学会、日本教育工学会、日本教育システム情報学会で優秀賞、研究奨励賞受賞。

締切 第1回 平成27年12月7日(月)迄 第2回平成28年1月20日(水)迄



WEBお申込み

<https://pro.form-mailer.jp/fms/2e39c83d88450>

QRコードからも可能です。スマートフォン対応

お申込はWEBのみでの対応になりますので予めご了承ください

お申込み方法

個人情報に関して適用される法令、規範を遵守し、個人情報は適正に扱います。上記、URLにアクセスして頂き(PC・スマートフォン共通) 必須事項をご入力してください。

3名様迄同時にお申込み可能です。人数が4名以上の場合は、お手数ですが2回に分けてお申込みください。

会場へのアクセス

国立オリンピック記念
青少年総合センター
東京都渋谷区代々木神園町3-1

※詳しくは下記URLより
<http://nyc.niye.go.jp/train/>

